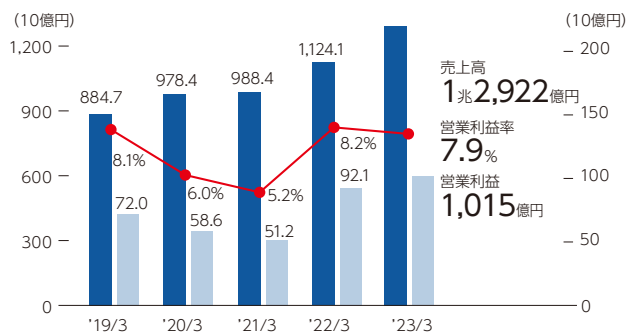


財務・非財務ハイライト

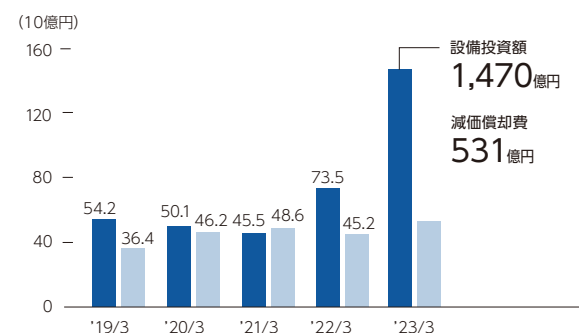
財務ハイライト

■ 売上高、営業利益、営業利益率



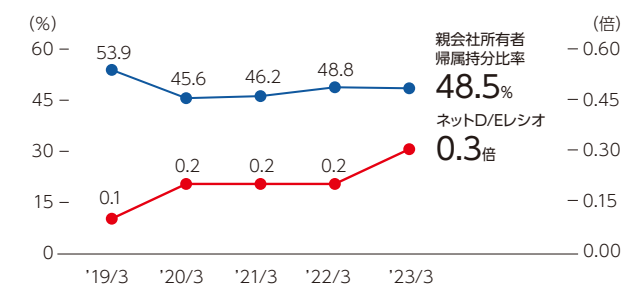
売上高、営業利益等すべてにおいて過去最高となりました。
売上高は11期連続増収、営業利益は2期連続増益となります。

■ 設備投資額、減価償却費



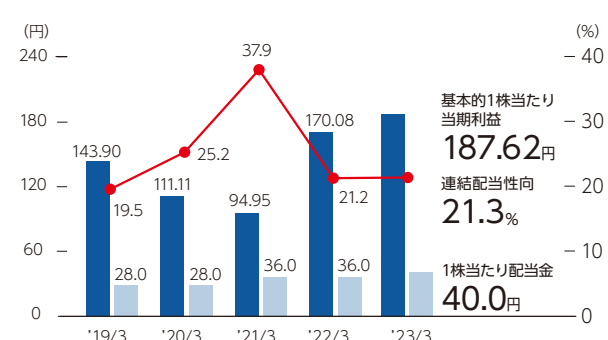
設備投資額は東京クロスステックガーデン関連を中心に実施しました。
※ 2022年3月期および2023年3月期の設備投資額には、東京クロスステックガーデン取得費用の一部が含まれています。

■ 親会社所有者帰属持分比率、ネットD/Eレシオ



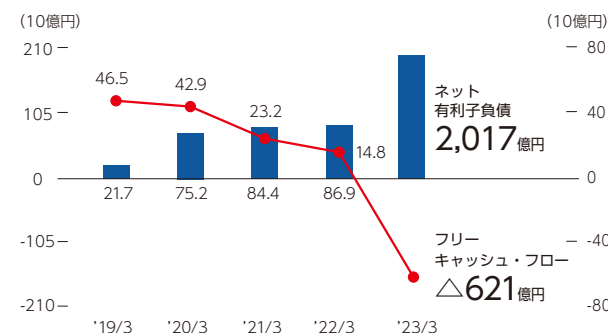
親会社所有者帰属持分比率は前期と同水準となりました。
ネットD/Eレシオは東京クロスステックガーデン取得およびM&Aに伴う支出、運転資金の増加などによりネット有利子負債が増え、0.3倍となりました。

■ EPSおよび配当額



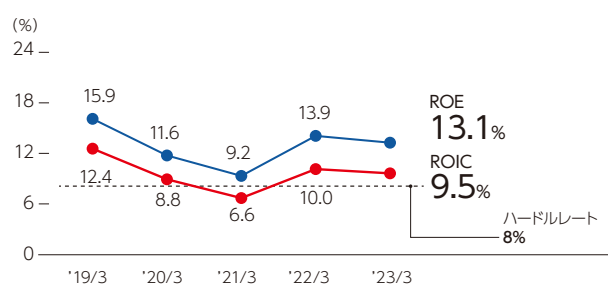
2023年3月期の配当は前期から4円増配の1株当たり40円となりました。

■ ネット有利子負債、フリーキャッシュ・フロー



東京クロスステックガーデン取得およびM&Aに伴う支出、棚卸資産の増加などによる運転資金の増加により、フリーキャッシュ・フローはマイナスとなり、ネット有利子負債は増加しました。

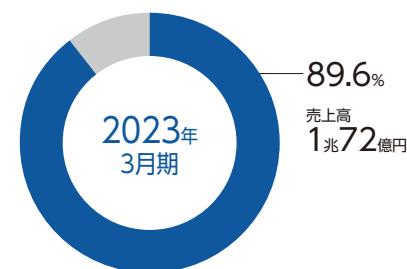
■ ROE、ROIC



ROE、ROICとも、高い水準を維持しています。ROICはハードルレートを上回り、資本効率を高めながら企業価値を向上させています。

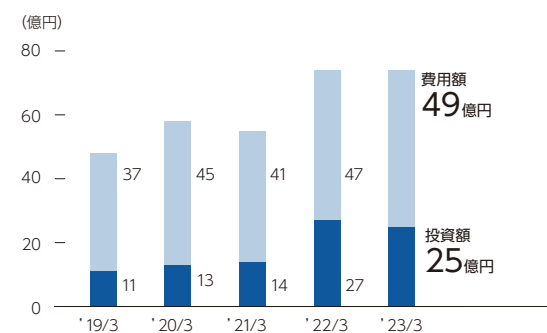
非財務ハイライト

■ グリーンプロダクツ売上高比率



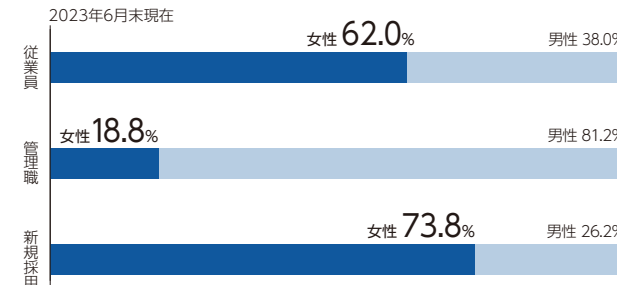
2023年3月期のグリーンプロダクツの売上高は1兆72億円で、全売上高（自社で設計ができない製品を除く）の89.6%でした。

■ 環境保全コスト

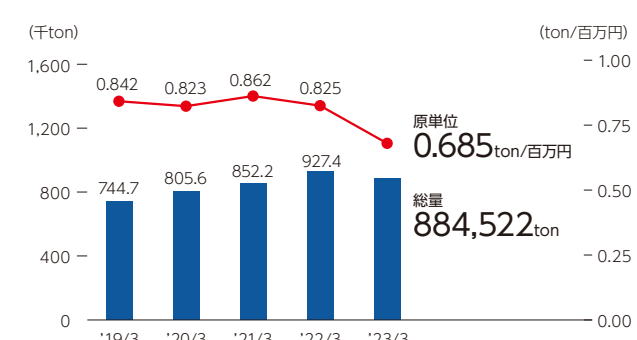


環境省の発行する「環境会計ガイドライン2005年版」を参考に、投資額、費用額の集計をおこなっています。2023年3月期の投資額、費用額を合わせた環境保全コストは74億円となりました。

■ 女性比率（従業員、管理職、新規採用）

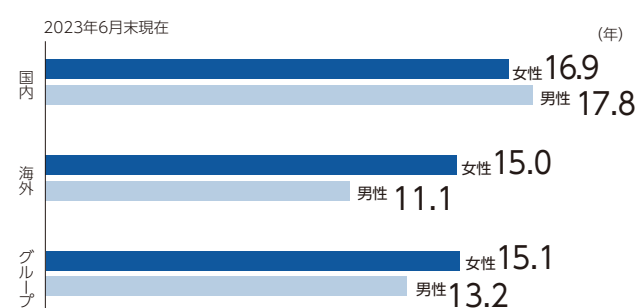


多様な人材が能力を最大限に発揮できる環境づくりによって、新たな価値観や競争力の創出を目指し、女性活躍を推進しています。2023年6月末の女性従業員比率は62.0%、管理職比率は18.8%となりました。（グローバル集計）

■ 温室効果ガスのCO₂換算排出量

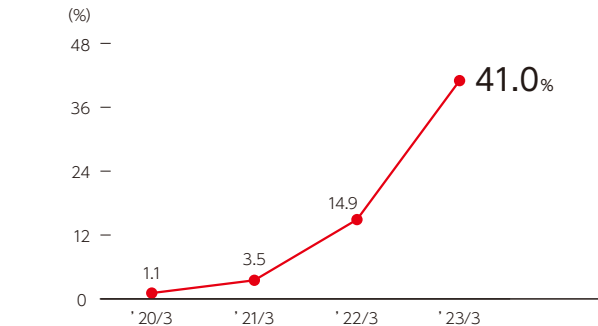
温室効果ガスは気候変動問題の要因とされていることから、総排出量と、売上高原単位をとらえています。2023年3月期は前期に比べ、総量で4.6%減少、売上高原単位で17.0%減少となりました。

■ 男女別平均勤続年数



男女間で大きな差はなく、グループ全体では女性の勤続年数が長いことから、引き続き育児休業後に就業継続できる職場環境づくりに取り組んでいきます。

■ 男性社員の育児休業取得率



2023年3月期の男性社員の育児休業取得率は41.0%となりました。（単体集計）